



LIAlison

広島大学附属図書館館報



Vol.25 No.2 Dec. 1999

21世紀へ向かって 21名の歴代図書館長紹介

本学は昨年創立50周年を迎え、附属図書館でも、所蔵する森戸（辰男）文書を中心に「森戸辰男とその時代」展を開催するなど、記念事業に参加した。これを機に、歴代館長と、それぞれの代における広島大学附属図書館の歩みを振り返ってみることにしたい。

本学は、他の国立大学に比べ早い時期に選挙制による図書館長選考規定を制定、館長の任期を3年と定め、評議員に加えているが、これは附属図書館と図書館長の役割を重視したことのあらわれと見てよからう。東千田町の旧本館に初代から4人の館長の肖像写真が残されていたのでご覧にいたい。その他の方たちは、広大フォーラムなどから使わせていただいた。（文：位藤邦生附属図書館長）

目 次

○21世紀へ向かって 21名の歴代図書館長紹介	1
○図書館で働きたい人に 図書館の種類と「司書」の資格	5
○資料の探し方シリーズ第7 ERIC Windows版	6
○広島大学創立50周年記念事業：ウォークラリー	8
○図書館の仕事シリーズ第12回 医学分館	10
○トピックス	12
○編集後記	12



初代 古賀 行義（教育学部） 昭和25. 3. 2～31. 3. 31

昭和25	この年日本脳炎が大流行	昭和29. 3	第5福竜丸がビキニ環礁で被爆
昭和25. 6	朝鮮戦争勃発	昭和29. 7	自衛隊発足
昭和26. 9	サンフランシスコ条約調印		

昭和25. 4 附属図書館運営委員会設置
 昭和25. 5 評議会の決定により、本館のほか、教育学部、同東雲分校、同三原分校、同福山分校、政経学部、工学部、水畜産学部及び皆実分校（教養部）の8分館を置く
 昭和28. 8 医学部設置に伴い、医学部分館を置く



2 千代田 謙（文学部） 昭和31. 4. 1～34. 3. 31

昭和31. 7	経済白書で「もはや戦後ではない」と指摘
昭和31. 10	日ソ国交回復に関する共同宣言
昭和31. 12	国連総会、日本の加盟を可決
昭和32. 2	第1次岸信介内閣成立
昭和32. 10	ソ連、人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功
昭和33. 6	仏・ドゴール内閣成立

昭和30. 4 教育学部の本部構内への移転に伴い、同分館を本館に統合
 昭和31. 4 本館館舎の新築工事着工
 昭和32. 4 政経学部の本部構内への移転に伴い、同分館を本館に統合
 昭和33. 5 理論物理学研究所分室を設置



3 土井 忠生（文学部） 昭和34. 4. 1～38. 3. 31

昭和35	ダッコちゃん現象	昭和36. 4	東急バスにワンマンカー登場
昭和35. 7	中ソ国境紛争起こる	昭和37. 10	キューバ危機
昭和35. 9	カラーテレビ本放送開始		

昭和36. 4 皆実分校（教養部）の本部構内への移転に伴い、同分館を本館に統合
 昭和36. 6 原爆放射能医学研究所分室を設置
 昭和37. 3 本館新館舎最終工事完成（1期第1工事は32年3月、1期第2工事は34年4月、2期工事は35年3月に完了）
 昭和37. 4 三原分校分館を東雲分校分館に統合



4 川村智治郎（理学部） 昭和38. 4. 1～41. 6. 30

昭和38. 6	黒四ダム完成	昭和39. 10	東京オリンピック開催
昭和38. 11	ケネディ米大統領暗殺	昭和40. 2	米軍、ベトナム戦争で北爆開始
昭和39. 10	東海道新幹線開通		

昭和40. 7 国際連合寄託図書館の指定を受ける
 昭和40年度より朱肉使用の蔵書印を廃止、スタンプ使用の受入登録印にかえた



5 北林 琢男（政経学部） 昭和41. 7. 1～44. 6. 30

昭和41	いざなぎ景気	昭和43. 8	日本初の心臓移植手術
昭和42. 2	初の建国記念日	昭和43. 10	明治百年記念式典
昭和42. 4	美濃部都知事誕生	昭和44. 5	国鉄にグリーン車登場

昭和41. 11 福山キャンパス内の館舎の新築完成、福山分校分館と水畜産学部分館が新館に移転
 昭和42. 4 福山分校分館と水畜産学部分館を統合し、福山分館を設置。医学部分館を廃止し、医学分館を設置



6 内海 巖（教育学部） 昭和44. 7. 1～46. 3. 31

昭和44	2ドア冷凍冷蔵庫登場
昭和44. 7	アポロ11号月面着陸、人類月に立つ
昭和45. 3	日本万国博覧会開催
昭和45. 11	三島由紀夫割腹自殺
昭和45. 12	公害対策基本法など公害関係14法案成立

昭和45. 4 経済協力開発機構（OECD）寄託図書館の指定を受ける
 昭和45年度 蔵書冊数が100万冊を越える



7 羽白 幸雄（教養部） 昭和46. 4. 1～47. 3. 31

昭和46. 7	環境庁発足
昭和47. 1	横井庄一元軍曹、グアムで救出
昭和47. 2	第11回冬季オリンピック札幌大会
昭和47. 2	ニクソン大統領訪中
昭和47. 3	山陽新幹線開業（新大阪～岡山）

昭和47. 1 「図書館だより」創刊



8 前川 力 (理学部) 昭和47. 4. 1～48. 3. 31

- 昭和47. 4 ノーベル賞作家の川端康成が自殺
昭和47. 6 田中角栄「日本列島改造論」を発表
昭和47. 7 第一次田中内閣成立
昭和47. 4 事務部制が設置され1部2課制となる
昭和47. 9 田中首相訪中、日中国交樹立
昭和48. 2 変動相場制に移行
昭和48. 3 南ベトナムで米軍撤退完了



9 伊東 隆夫 (文学部) 昭和48. 4. 1～50. 3. 31

- 昭和48. 10 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞
昭和48. 11 石油ショックで買いだめパニック
昭和49. 3 小野田寛郎、ルバング島から帰国
昭和49. 4 筑波大学開学
昭和49. 12 OECDの寄託制が廃止され、OECD協力資料館となる
昭和49. 8 ニクソン大統領、ウォーターゲート事件で辞任
昭和50. 3 山陽新幹線(新大阪ー博多)全通



10 鳴海 元 (理学部) 昭和50. 4. 1～53. 3. 31

- 昭和50 紅茶きのこブーム
昭和50. 10 広島東洋カープ26年目の初優勝
昭和51 戦後生まれが総人口の半数を突破
昭和51. 4 電算機による業務機械化開始
昭和52. 10 学術文献情報検索(HUNDRED)サービス・テスト開始
昭和52 平均寿命が世界一に(男72.69歳、女77.95歳)
昭和52. 9 王貞治、ホームラン756本の世界記録



11 北村 由之 (経済学部) 昭和53. 4. 1～55. 4. 1

- 昭和53. 5 新東京国際空港(成田空港)開港
昭和54. 1 初の国立大学共通一次試験実施
昭和53. 6 学校教育学部の設置に伴い、東雲分校分館を廃止し、学校教育学部分館を設置
昭和54. 8 学術文献情報検索サービス開始
昭和54. 1 イラン革命
昭和54. 3 ミスリーマイル島で原発事故



12 石田 寛 (文学部) 昭和55. 4. 2～57. 4. 1

- 昭和55 漫オブーム
昭和55. 7 第22回モスクワオリンピック、日本ボイコット
昭和56. 4 原爆放射能医学研究所分室を廃止
昭和56. 5 医学分館の新館舎竣工
昭和57. 2 工学部分館が新キャンパス(東広島市)へ移転
昭和56 国際障害者年
昭和56. 10 エジプト、サダト大統領暗殺



13 桑原 改造 (工学部) 昭和57. 4. 2～59. 4. 1

- 昭和57. 10 北炭夕張鉱閉山
昭和58 おしんブーム
昭和57. 9 工学部分館の開館
昭和58. 9 図書の所在検索サービス開始
昭和58. 4 東京ディズニーランド開園
昭和58. 5 サラリーマン新党結成



14 古田 敬一 (文学部) 昭和59. 4. 2～60. 3. 31

- 昭和59. 8 臨時教育審議会発足
昭和59. 11 電電公社のキャプテンシステム実用化
昭和59. 11 一万円、五千円、千円の新札発行
昭和60. 3 ソ連、共産党書記長にゴルバチョフ選出
昭和60. 3 科学万博・つくば'85が開幕
昭和60. 1 貸出・返却業務の機械(パソコン)処理のプログラムを自主開発



15 岸本幸次郎 (教育学部) 昭和60. 4. 1～63. 3. 31

- 昭和61. 1 ミスペースシャトル、チャレンジャー号爆発。7人死亡。
昭和61. 4 男女雇用機会均等法等施行
昭和60. 4 貸出・返却業務の機械(パソコン)処理開始
昭和60年度 蔵書冊数が200万冊を越える
昭和61. 6 雑誌の所在検索サービス開始
昭和61. 12 国際連合寄託図書館の指定解除
昭和62. 4 広島市立図書館との相互協力サービス開始
昭和61. 4 ソ連チェルノブイリ原発で重大事故
昭和62. 4 国鉄分割・民営化
昭和62. 4 学術情報センターと接続し目録登録を開始
昭和62. 7 DIALOGオンライン文献情報検索サービス開始



16 八木 佐市 (法学部) 昭和63. 4. 1～元. 3. 31

- 昭和63. 4 アフガニスタン和平協定調印, ソ連軍 昭和64. 1 昭和天皇崩御
撤退へ 昭和64. 1 国の行政機関の土曜
昭和63. 7 海自潜水艦などしおと第一富士丸衝突 閉庁がスタート
- 昭和63. 4 学術情報ネットワークのノード局が本学に設置される
昭和63. 4 生物生産学部の移転に伴い工学部分館を廃止し, 西条分館を設置
昭和63. 4 整理課及び閲覧課を情報管理課及び情報サービス課と改称する
昭和63. 4 学術情報センターの検索サービスを開始



17 陣崎 克博 (総合科学部) 平成元. 4. 1～3. 31

- 平成元. 4 消費税実施。税率は3%
平成2. 10 東西ドイツ統一
平成3. 1 湾岸戦争
- 平成元. 4 理論物理学研究所分室を廃止
平成元. 10 教育学部の新キャンパス(東広島市)への移転に伴い福山分館を廃止し, 教育学部分室を設置
平成2. 3 新キャンパス(東広島市)で中央図書館の第1期工事着工
平成3. 2 附属図書館専用電子計算機稼働
- *中央図書館玄関左手はんれい岩の「広島大学附属図書館中央図書館」は, 陣崎先生の揮毫



18 津留 宏道 (歯学部) 平成3. 4. 1～5. 3. 31

- 平成3. 6 雲仙普賢岳火砕流で報道陣など死者・不明43人
平成3. 12 ゴルバチョフ大統領辞任, ソ連邦消滅
平成4. 4 ミロサンゼルス市で黒人暴動
- 平成3. 7 中央図書館第1期工事竣工
平成4. 3 中央図書館へ本館の一部, 教育学部分室, 理学部から図書資料の移転
平成4. 3 教育学部分室を廃止
平成4. 5 中央図書館での業務開始
平成5. 2 西図書館竣工



19 藤本 黎時 (総合科学部) 平成5. 4. 1～7. 3. 31

- 平成6. 5 南アフリカ大統領にマンデラ選出 平成6. 10 大江健三郎にノーベル
文学賞
平成6. 6 村山富市内閣成立
平成6. 7 北朝鮮, 金日成主席死去 平成7. 1 阪神大震災
- 平成5. 7 西図書館へ本館の一部, 総合科学部から図書資料の移転, 中央図書館第2期工事着工
平成5. 10 西図書館での業務開始
平成6. 3 中央図書館へ本館の一部, 文学部から図書資料の移転
平成6. 12 中央図書館第2期工事竣工
平成7. 1 中央図書館へ本館, 法学部, 経済学部から図書資料の移転
平成7. 2 中央図書館へ学校教育学部分館, 学校教育学部から図書資料の移転
平成7. 3 附属図書館専用電子計算機更新



20 前田 文之 (理学部) 平成7. 4. 1～10. 3. 31

- 平成7. 4 青島都知事が世界都市博覧会中止を表明
平成7. 7 米国とベトナムとが国交正常化
平成7. 11 食糧管理法廃止
- 平成7. 4 西条分館及び学校教育学部分館の分館制廃止, 西条分館は東図書館に改称, 学校教育学部分館は中央図書館に統合, 東千田分室を設置, 事務組織を一元化
平成7. 6 中央図書館竣工・移転記念式典・祝賀会
平成8. 3 附属図書館短・中期整備計画の策定
平成8. 4 O P A Cの提供開始
平成8. 5 CD-ROMサーバーによるMedlineサービス開始
平成8. 8 附属図書館ホームページの公開
平成9. 4 プリペイド・カードによる複写サービスの実施
平成9. 6 外国語雑誌目次データベース検索システムのサービス開始
平成10. 3 「広島大学附属図書館の電子情報化構想」を策定



21 位藤 邦生 (文学部) 平成10. 4. 1～

- 平成10. 4 明石海峡大橋が開通 平成10. 7 和歌山市で毒物カレー事件
平成10. 5 インドが24年ぶり2度目の 平成10. 10 地球温暖化防止国際会議
地下核実験 (プエノスアイレス)
- 平成10. 4 事務機構を改革。東図書館情報管理係, 西図書館情報管理係, 情報システム係を廃止し, 受入係, 相互利用係, 電子情報係を設置
平成10. 4 中央図書館に情報検索コーナー(マルチメディア)を設置
平成10. 4 中央図書館に留学生用資料コーナーを設置
平成11. 3 附属図書館専用電子計算機更新

＊ ＊ ＊ 図書館で働きたい人に ＊ ＊ ＊ ～図書館の種類と「司書」の資格～

よくカウンターで「図書館で働くにはどうしたらいいですか？」と聞かれることがあります。図書館と一口にいいますが、それぞれの図書館の性格はさまざまです。今回は、将来図書館で働きたい人に、主な図書館の種類による違いと、そしてよく耳にする「司書」の資格を取得する方法について取り上げます。

【図書館の種類】

1. 公共図書館

主に都道府県や市町村が設置する図書館を指します。公務員試験を受けることが条件です。ただし欠員補充が主ですので、毎年募集があるとは限りません。また、受験時に司書の資格を必要とするところもあれば、司書の資格を持たない一般行政職員が図書館に配属されたりと、その採用方法はまちまちなので、受験時には募集要項などをよく確かめる必要があります。

2. 大学図書館

設置母体が大学である図書館を指します。広島大学附属図書館は大学図書館に含まれます。国立大学の場合は、「国家公務員Ⅱ種試験（図書館学）」という公務員試験を受験します。受験資格は短大卒程度で、司書の資格は必要としません。試験は毎年7月ごろにあり、一般教養および専門試験（図書館学）が科せられます。ちなみに平成11年度の受験者数は全国で1,371人、合格者数39人でした。

県立大学など公立大学の場合は、上記の「1. 公共図書館に就職する」にほぼ準じるようです。私立の大学図書館の場合は千差万別です。学校によっては臨時職員としての採用であったり、司書の資格以外に教員免許を必要とすることもありますので、各大学などへお問い合わせください。

3. 学校図書館

小・中学校、高等学校に設置の図書館（室）で働く職員です。学校図書館司書教諭という資格を必要とするところや、臨時職員での採用であったりするなど、雇用形態や雇用期間はさまざまですので、各教育委員会に問い合わせたほうがよいでしょう。

【司書の資格を取得する】

司書とは、図書館の専門的事務に従事する職員をいいます。主な業務の内容は、

- ① 図書館資料の選択、発注および受け入れ
- ② 受け入れ資料の分類と蔵書目録の作成
- ③ 目録からの検索、図書館資料の貸出と返却
- ④ 図書館資料に関するレファレンスサービス
- ⑤ 読書活動推進のための各種事業の企画、立案と実施

などがあります。

上記の【図書館の種類】で言及したように、司書の資格を持っていれば直ちに図書館で働くことができるわけではありませんし、司書の資格を持たない人でも図書館で働ける場合もあります。しかしながら現場での仕事は専門的な知識を必要としますので、司書の資格を取得することは、将来図書館で働く近道といえるでしょう。

司書の資格を取得するには主に以下の3つの方法に分かれます。

1. 通信制大学のスクーリングで取る。

働きながら資格を取りたい人に適しています。入学時期はたいいてい4月・10月の2回あります。大学生は2年以上在籍して62単位以上あることが入学条件ですが、現役の大学生の入学を許可しない大学もありますので、各大学に問い合わせてください。なお修業年限は最低1年です。各科目ごとにレポート提出・試験があり、2週間程度の図書館実習があります。

2. 司書講習を修了する

全国約10の大学でたいいてい毎年7月～9月の間、短期間に集中して行われます。平成11年度は中・四国地区では広島文教女子大学で行われました。講習実施大学はその年の3月ごろ官報に公示されます。受講する場合は講習実施大学に直接申し込みます。

受講条件は短大卒程度か、大学生は2年以上在籍して62単位以上必要です。ただし人数制限があるので、必ずしも受講できるとはかぎりません。

3. 司書資格取得のための科目を開講している大学・短大に入る。

広島大学では現在のところ開講されていませんので、どうしても在学中に司書資格を取得したい人は1.の通信制大学か2.の司書講習のどちらかを選択することになります。

（西図書館 岡田 英治）

【参考資料ほか】

図書館司書という仕事／久保輝巳著. -- 改訂版. -- ペリかん社, 1994

資格・検定受験案内 '96 -- 学習研究社, 1995

<http://www.jinji.admix.go.jp/saiyo/fsaiyo01.htm>

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~k-lib/librarian/librarian1.html>

<http://www.jade.dti.ne.jp/~akinasu/shi002.htm>

●文献の探し方シリーズ 第7●

ERIC Windows版

教育学関係の論文を調べるのに、国内であれば国立国会図書館の編集する「雑誌記事索引」を使うことができます。海外の文献まで含めて調べようとするするとERICが有効です。

ERICは世界で最大かつ最も著名な教育データベースで、教育関係の雑誌750点の記事および数千点の調査レポートを含み、成人教育・職業教育、カウンセリング、教育管理、言語・読解・コミュニケーション能力、障害者および英才教育カリキュラム、試験・評価の方法など広範囲にわたる主題を対象としています。

附属図書館で最もよく利用されているデータベースのひとつです。検索ソフトもWindows対応になって大変使いやすくなりました。

(1) 始める

専用の検索ソフトであるWinSPIRSのアイコンをダブルクリックします。



*パソコンによっては起動方法が違ふことがあります。中央図書館では、カウンターで3枚のCD-ROMを受け取り、情報検索コーナーのマルチメディアパソコンに装填します。デスクトップの「ERIC (カウンタからCD-ROMを借りてくる)」と書いてある部分をダブルクリックするとスタートします。



Startボタンをクリックします。



OKボタンをクリックします。

(2) 探す

Search: の後に探している資料のキーワードを入力します。

library instructionと入力すると、library と instruction の両方を含む資料が見つかります。



(3) 見る



ここをクリックすると、Abstracts 付きで表示できます

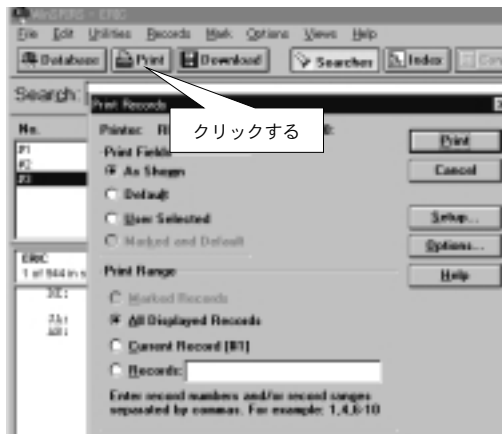
更に絞り込んで検索するには

#3 and university

と入力して、Searchボタンをクリックします。

(4) 印刷する

Print ボタンを押して、印刷設定をします。



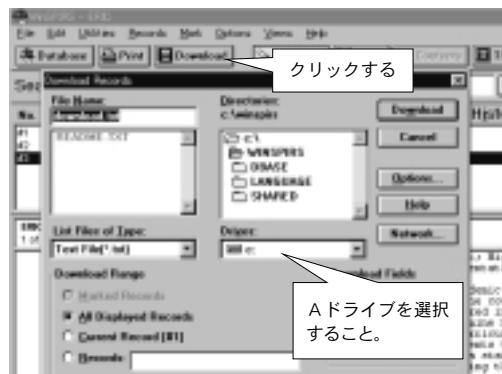
中央図書館では用紙を持参すれば、検索結果を印刷できるようプリンタを用意しています。しかし用紙以外にもトナーインクなどの維持費用が多くかかっていますので、良識ある枚数のプリントをして下さい。

大量の場合は、フロッピーディスクにダウンロードしてデータを持ち帰ってください。

(5) フロッピーディスクにいれる

フロッピーディスク等にテキストファイルとして取り込むことができます。

Download ボタンをクリックします。



(6) オリジナル論文を探す

表示された各資料の請求番号 (AN) が ED10000~ED190736 (完全には揃っていない) であれば、中央図書館でオリジナル論文のマイクロフィッシュを所蔵しています。カウンターに請求して受け取り、自分でプリントアウトします。請求番号 (AN) が上記以外のものは他大学図書館に複写を申し込みます。

ERIC製作会社に直接注文ができます。支払いはクレジットカードで出来ますし、とても早

く入手することができます。

形態 (DT) が Journal Article (080) であれば、それは雑誌論文です。

広島大学の蔵書目録検索システムOPACや全国大学図書館の所蔵を調べるためのWebcatなどを検索して、その雑誌を所蔵している図書館を知ります。

広島大学にあれば、自分でその場所に出かけていってコピーをとります。

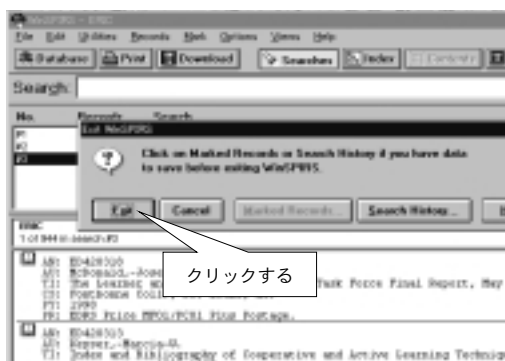
広島大学にない場合は、所蔵大学から取り寄せますので Webcatなどで所蔵を確認して複写をお申し込みください。

(7) 終わる

終了するときは、画面右上の ×印をクリックします。



ほんとに終了するかどうか聞いてきますので、Exit ボタンをクリックします。



(参考調査係 野村 正人)

広島大学創立50周年記念事業：ウォークラリー

平成11年11月7日に広島大学創立50周年記念事業の一環として学部間ウォークラリーが実施されました。ラリーの1ポイントとなっている附属図書館では当日の催しとして「貴重資料の展示」と「館内ツアー」を実施しました。

展示資料は特定のテーマを設定せず、地域の人々に関心が高く比較的なじみやすいと思われるものを図書館所蔵資料の中から抜粋し、このうち貴重書8点と明治期から現在に至る教科書約30点を展示パネル、閲覧台等に並べて展示・公開しました。実施にあたっては約2週間の準備期間を設け、5名の館員により資料選定、キャプションの作成、パンフレットの作成等を行いました。展示資料の詳細を当日配布したパンフレットで紹介します。なお、当日図書館に入場したラリー参加者は200名でした。



日時： 平成11年11月7日（日）
午前11時～午後4時

会場： 広島大学附属図書館中央図書館

行事： 貴重資料展示（1階アトリウム）
館内ツアー

第1回：13時30分
第2回：15時

広島大学附属図書館

展示貴重資料

1. 知新集 25巻（昭和四十一年広島県重要文化財指定）

広島藩府は「藝藩通史」編集にあたり、文化・文政年間各町村に地誌の書き出しを求めた。各町村では国郡志御用係が任命されてその編集にあたったが、広島府では西町奉行所内に編集局が設けられて編集がすすめられ、文政五年（1822）四月に完成して国郡志編集局に提出された。これを同年十月、町方付歩行飯田篤老が書写し体裁を整えて25巻にまとめた。「知新集」と銘々して藩庫に納めたものである。

2. 中国五県土地租税資料文庫 5,662冊

広島国税局旧蔵。慶長（1596～）から明治中期に至る中国五県（12ヶ国）の土地及び租税制度に関する資料。藩政時代の郷帳・村明細帳・免帳・小物成帳等のほか、まとまったものとしては出雲国検地帳・備後国検地帳等千数百点と、地租改正関係資料数千点が含まれている。

このうち帳3点と地図1面を展示している。

■「安芸国賀茂郡全八拾七ヶ村通観村等表」 3枚 明治十一年（1878）

- ・田村等表
- ・畑村等表
- ・宅地村等表

■「安芸国賀茂郡郷村高帳（広島藩）」 235枚 明治三年（1870）

■「賀茂郡地券税調帳（広島県租税課）」 287枚 明治九年（1876）

■「地引繪圖面（出雲の國楯縫郡平田村上ヶ分）」 3枚

3. 安部公房「無名詩集」 ガリ版刷 1947

作家。本名＝きみふさ。大正十三年中国瀋陽生まれ。

昭和二十六年「壁」で芥川賞を受賞。カフカや花田清輝の影響を受け、空想的だが実は科学的でもある実験的な作品を試みた。三十七年には共産党から除名。演劇活動も熱心で四十八年「安部公房スタジオ」を結成、自ら演出にもあたる。小説に「砂の女」「他人の顔」「箱男」など、戯曲に「友達」「幽霊はここにいる」などがある。

「無名詩集」は昭和二十二年五月頃にガリ版刷により自費出版されたためずらしいもので、詩12編、散文詩1編、エッセイ1編が収められている。出版部数は不明である。本書は著者より広島県出身文芸評論家の佐々木基一氏へ献呈されたものである。

4. マルクス「資本論」 初版 2巻 1867-85

資本主義経済の歴史的特殊性と運動法則を科学的かつ徹底的に解明して19世紀後半以降の社会

主義運動に圧倒的な影響を与え、またそれ以後の経済学・社会科学の研究にとって最も重要な道標となった記念碑的文献である。第1巻の初版本は、1867年九月マルクスの手によって完成され、ハンブルグのオットー・マイスナー書店から1,000部刊行された。第2巻はマルクス没後、エンゲルスの整理・編集により同じくオットー・マイスナー書店から1885年6月に出版された。

フランス語版「資本論」第1巻初版は、ドイツ語第2版のフランス語訳であるが、ドイツ語版に比してとくに蓄積論における変更が根本的なものになっており、その意味でこのフランス語版は、「資本論」研究上きわめて重要な意義をもっている。これはもともと分冊で出版されたものを、1875年ラシャートル書店から1冊本にまとめられて出版されたものである。

5. モンテスキュー「法の精神」 初版 2巻 1748 ジェノア刊

18世紀フランス絶対王政の衰退期に現れた、啓蒙思想家の不朽の名著。モンテスキューは「法の精神」の原理発見を求めて思索を重ね執筆完成(1746)までに15年の年月を費やした。当時は政治的反動期にあり、また本書が絶対王政を批判し、「政治的自由」の実現を主張したこと、さらに反宗教的であったためにパリでの出版を断念し、初版はジェノア共和国の国務書記官ピエール・ミュサールの尽力により、出版元にジェノアのバリユ、校正・出版事務監督にジャコブ・ヴェルネを得、1748年10月末に印刷完了、11月にジェノアで匿名出版された。

6. レオナルド・ダヴィンチ「フランス学士院蔵パリ手稿」 ファクシミリ版 全12巻・別巻1

ダヴィンチ(1452-1519)はイタリア・ルネサンスの代表的美術家で、また科学者、技術家、思想家。その手記は、30歳前から最晩年にいたるまでの、読書、観察、実験、研究などから得たものを克明に記録したもの。その内容は、美術の諸分野、自然科学、機械、土木、軍事など多岐にわたる。現在、その多くの部分が散失し、全体の1/5程度にあたりと推定される約5千葉がヨーロッパ各地に分散所蔵されている。

フランス学士院所蔵の「パリ手稿」は、1796年にナポレオンによってミラノのアンブロジアーナ図書館からフランスに移されたものである。この手稿には、それぞれA-I、J-Mの文字記号がつけられている。(以上は主としてブリタニカ百科事典による)日本版は1995年に岩波書店から刊行されたもので、手稿12、A. マリノーニの翻刻・肯定文12冊、日本語訳テキスト12冊が含まれる。

7. グーテンベルグ聖書 復刻版 2巻

印刷術、火薬、羅針盤は世界を変えたとされるルネッサンス期(14-16世紀)の3大発明である。西ドイツに生まれたグーテンベルク(1397-1468)は、1冊の本をつくるのと同じ時間で数百の本をつくるという着想を印刷機のかたちで実現させた。1455年に四十二行聖書とよばれる美しいラテン語聖書の機械的印刷が完成した。当初に出版されたのは200冊ほどで、世界最古の活版印刷の本としてグーテンベルグ聖書とよばれる。

現存するものは世界で48部、日本では丸善に1部所蔵している。

8. 島木赤彦「書簡」 約60点

歌人。本名=久保田俊彦。別号 伏龍、山百合(やまゆり)、柿人(かきびと)、柿の村人(かきのむらびと)、柿陰山房(しいんさんぼう)主人。明治九年長野県諏訪郡上諏訪町に生まれ、大正三年上京、古泉千樞(こいずみ ちかし)、斉藤茂吉に代わって伊藤左千夫や長塚節没後の「アララギ」の編集を担当した。歌集「馬鈴薯(ばれいしょ)の花」(大正三年刊)、「切火(きりび)」(大正四年刊)、「氷魚(ひお)」(大正九年刊)、「柿陰集(しいんしゅう)」(大正十五年刊)等を著す。(新潮日本文学辞典より)

展示の書簡は、歌人島木赤彦が明治三十四年から大正十年にかけて小尾喜作に宛てたもので約60通。昭和四十三年に広島大学が市内の古書店から購入したもの。

特別展示「教科書」

明治期から現在まで

教科書は当初、「自由発行・自由採択制(1872(明治五年))」であったが、「認可制(1883(明治十六年))」、「検定制(1886(明治十九年))」を経て、1903(明治三十六年)「国定制」となり、それは昭和二十年まで続いた。戦後新しい学制が発足し、これまでの「尋常小学校(明治六年〜)」から名称を変更した「国民学校(昭和十九年〜)」も昭和二十二年「小学校」と改められ、同時に教科書も再度「検定制」となり今日に至っている。

広大開学50周年の記念に、当館が所蔵している教科書のうち、国定教科書「尋常小学校読本(巻1)」(国定1期から4期)、終戦直後のいわゆる「墨ぬり教科書」(いずれも復刻)並びに昭和二十二以降の検定教科書のうち、「小学校1年国語(上)」を展示する。

●図書館の仕事シリーズ 第12回●

医学分館

1. はじめに

このシリーズも今回は医学分館を紹介することになりました。多くの部局・施設等が新キャンパス（東広島市）への統合移転が完了した現在、従来のキャンパス（広島市）は、霞地区と東千田地区だけになりました。附属図書館も東広島市に3館（中央図書館・東図書館・西図書館）、広島市に医学分館と東千田分室の計5つです。

附属図書館では、平成10年4月に東広島キャンパスの3図書館を中心にした大幅な事務組織の再編成を実施しました。それは、東図書館及び西図書館はサービス部門のみとし、それまで各館で行っていた資料の受入・整理等を行う管理部門は中央図書館に移行して一本化し、資料の集中整理を行うことで省力化を図り、情報サービス部門の強化に充てることとなりました。

2. 医学分館

さて、一方医学分館は、その事務機構の再編成には直接関連しなかったため、従来通り医学分館担当の図書館専門員と、管理部門（情報管理係）とサービス部門（情報サービス係）の2係で業務を行っています。

この館報「リエゾン」で、これまでに幾つもの係の業務やサービスについて紹介されています。医学分館の2係は、担当部局や業務量及びサービス対象者数等に違いこそあれ、中央図書館の数係で行っている業務を、それぞれの部門で併せて担当していることになります。

医学分館でも同様に行っている業務やサービスについては、既に紹介された「リエゾン」の記事を参考にさせていただきたいと思います。ここでは他館とは多少事情・条件の異なるような事項について、幾つか述べます。今後医学分館の利用や文献・情報の収集等のうえで少しでもお役に立てば幸いです。

3. 医学図書館

医学図書館は医学（関連分野）・医療に携わる人々を底辺から支え、人の生命に関わる情報



を提供していると言えます。医学図書館のサービス対象として、学生、研究者のほかに医療に従事する医師や医療スタッフがあります。

医学関連情報は毎年洪水のように生産されていて、世界で現在刊行されている関連雑誌だけでも2万種以上。この膨大な情報の中から必要な情報を、正確にしかも迅速に入手することが医学に関わる人々には求められています。医学図書館は、図書館を有効に活用できるよう機能を充実させる必要があります。

4. 医学情報、二次資料

最新の医学情報は、主に学術雑誌掲載される研究論文や症例報告によって得られます。必然的に医師や研究者が利用する資料は雑誌が中心となり、この点も医学図書館の大きな特長と言えます。

どのような医学文献が刊行されたかを、主題や著者名などから効率良く探すための資料として、「目次誌」「索引誌」「抄録誌」などがあります。（例：Current Contents, Index Medicus, Excerpta Medica, 医学中央雑誌など）

最近では、CD-ROMにより、利用者がコンピュータを直接操作して情報の検索が出来る二次資料データベースが普及しています。

5. 資料の探し方・入手方法

霞地区には、医学関連の資料を中心に現在約19万冊の図書と約8千3百種類の雑誌を所蔵しており、そのうち医学分館には、図書約11万冊と雑誌約5千4百種類があります。

必要とする文献を探すには、幾つかの方法があります。

- 1) 図書・雑誌のある場所で直接探す。
- 2) 図書や雑誌の論文に掲載された参考文献から、関連文献を探す。
- 3) 著者・主題等のキーワードを基に二次資料やパソコンを利用して文献を探す。

次に、欲しい文献が医学分館及び霞地区内に所蔵しているか否かを、オンライン目録、カード目録や冊子体目録で確認します。

文献を医学分館か霞地区のいずれかの部局で所蔵している場合は、利用者自身で探し入手して下さい。医学分館にあれば館内で複写できます。

霞地区内に所蔵しない文献については、学内の他館または他部局、或いは他大学等から文献複写の取り寄せ及び図書の借り受けができます。所定の申込用紙に記入してカウンターにお申し込みください。

6. CD-ROM版による情報検索

下記のデータベースが1階の情報検索コーナーで利用できます。(詳細は、「リエゾン」Vol.23 No.4「文献のさがしかたシリーズ第4回 医学文献の探し方」を参照ください)



1) Medline

米国の国立医学図書館(NLM)作成の世界的な医学・生物学関連のデータベースです。年間約30万件のレコードが蓄積され、世界で発行された3,700誌以上の専門雑誌に掲載された1966年以降の文献情報を収録してあります。

2) 医学中央雑誌

1903年に抄録誌として創刊され、1996年に索引誌に体裁を一新。現在、国内で発行されている医学・薬学・歯学及び関連領域の資料約2,440誌を収集し、年間約25万件の文献データを掲載してあります。

CD-ROM版は、1987年以降について作成され、検索可能です。

3) Current Contents : (Life Sciences)

目次速報誌で、医学分野では、Clinical Medicine編とLife Sciences編があります。医学分館では、CD-ROM : Life Scienceが利用できます。

4) 今日の診療

「今日の治療指針」「今日の診断指針」「臨床検査データブック」「治療薬マニュアル」等の書籍の情報が収録され、写真、図、音声も収録されています。

7. マルチメディア医学教育システム稼働

図書館のマルチメディア化の一環として導入され、下記の2つのソフトウェアで構成されています。本システムの導入が、解剖学や生理学に関する教育や学習の一助になれば幸いです。

1) A.D.A.M. Interactive Anatomy

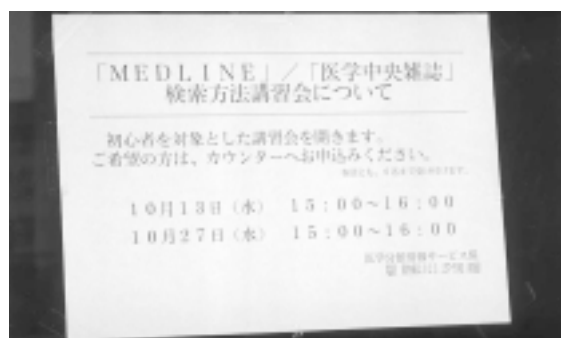
4方向の観察面から男性と女性の全身解剖図に収録された20,000枚以上の解剖学的構成物が見られます。

2) A.D.A.M. Benjamin/Comings

Interactive Physiology

鮮明なグラフィックス、アニメーション、サウンド、ビデオ、インタラクティブなクイズを使って、生理学の学習が単なる概念の記憶から、確実な理解へと導かれるよう工夫されています。

8. 「MEDLINE」/「医学中央雑誌」 検索方法講習会について (月2回実施)



(医学分館 西本 勉)

● トピックス ●

◆校費による文献複写方式の変更

附属図書館では、館内での校費による文献複写の方式を変更した。これまでは複写の一件ごとに申込書を記入してもらい、それらを一定時期に集計して校費振り替えを行っていた。一件あたり数百円以下の申込みが大半で、その集計作業も多大なものであった。事務効率化のために、校費による複写用にプリペイドカードを配布し、カード枚数を集計して校費振り替えにする方式を10月1日から始めた。利用者は図書館の窓口をいちいち経由せずに校費による複写が可能になり喜んでいる。

◆企画展「森戸辰男とその時代」

中央図書館展示スペースにおいて、11月4日から12日まで森戸文書研究会による企画展「森戸辰男とその時代」を開いた。広島大学初代学長森戸辰男先生ゆかりの写真パネル、書、胸像、書簡、文書など84点を展示した。期間中のべ1200人の来場があった。

(平成11年10月～12月末)

◆図書館ウォークラリーを開催

広島大学創立50周年事業のひとつとして、附属図書館は11月5日に学部間ウォークラリーを行った。知新集、中国五県土地租税資料文庫、安部公房「無名詩集」ガリ版刷、マルクス「資本論」初版2巻、モンテスキュー「法の精神」初版2巻、レオナルド・ダヴィンチ「フランス学士院蔵パリ手稿」ファクシミリ版、グーテンベルグ聖書復刻版2巻、島木赤彦「書簡」約60点、「教科書」(明治期から現在まで)を展示した。1日の開催であったが、200人の来場があった。

◆電子ジャーナル説明会

附属図書館は、11月18日と19日、学内の教職員・学生を対象に電子ジャーナル説明会を開いた。まず、電子ジャーナルの傾向と大学図書館の関係について附属図書館が説明した。そのあとElsevier社から同社の電子ジャーナルシステムであるScience Serverのデモンストレーションがあった。

編集後記

「世紀末」という言葉は、あまりいい意味では使われないようですが、いよいよ20世紀最後の年である西暦2000年を迎えようとしています。また、今年は本学創立50周年の記念の年でもありました。時間の流れに切れ目はないのですが、こうして区切りをつけることは、気持ちを新たにすることによって意義のあることだと思います。コンピュータ2000年問題や国立大学の独立行政法人化の問題など、気になることはたくさんありますが、とにかく来るべき2000年が良い年であることを願うばかりです。(木)

広島大学附属図書館「リエゾン」 Vol. 25 No. 2 平成11年12月31日 発行

発行 広島大学附属図書館 〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2 電話 (0824) 22-7111(代)

編集 館報編集委員会